

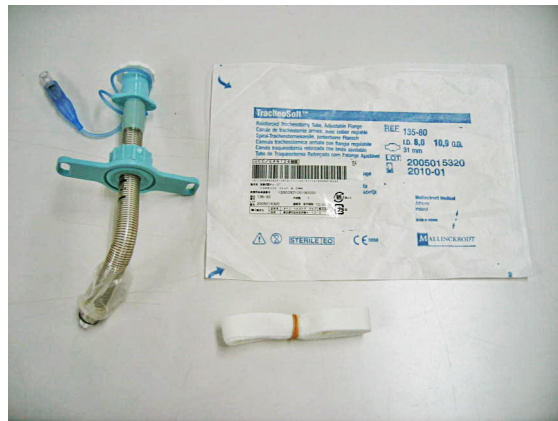
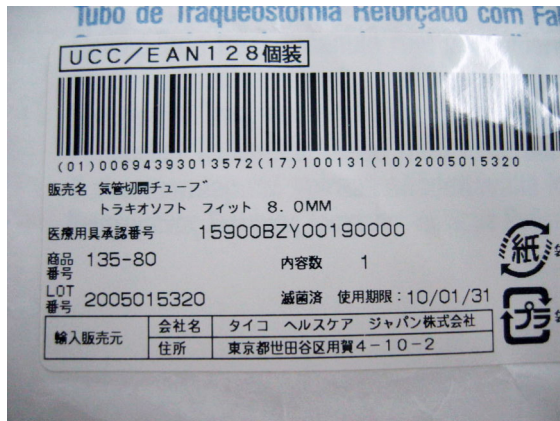
# トラキオソフトフィットの管理

## 目的

- 通常の気管切開チューブでの管理が困難な場合に使用する

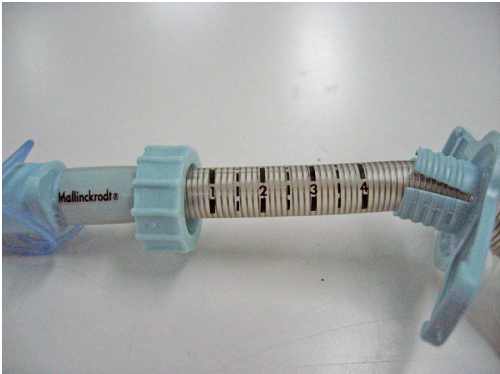
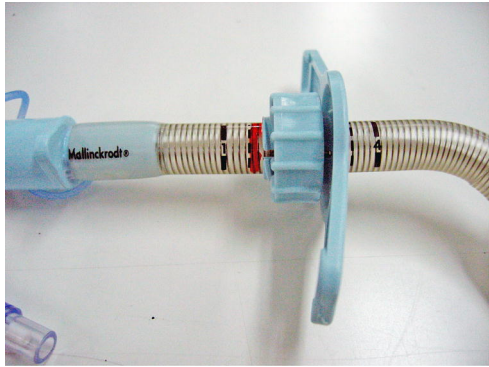
## 使用する器具

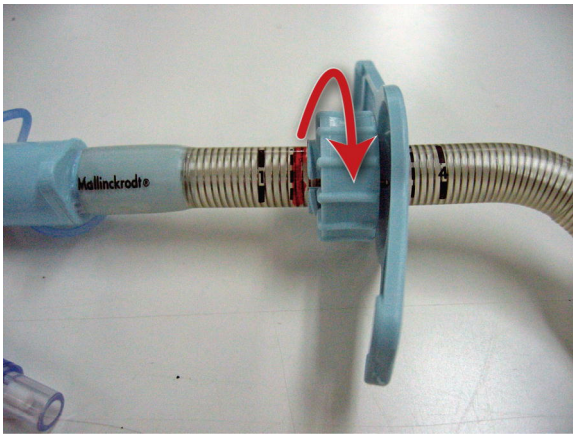
- トラキオソフトフィット：資材課発注品（物品請求表に記入して請求する）8.0mm 定数 1
- 使用した後は請求して補充し，患者ごとに発注し交換用として管理しておく
- 使用するかどうかの適応については医師が決定する
- 通常の気管切開チューブのフランジはチューブ固定タイプであるが，このトラキオソフトフィットのフランジはスクリューロック式であるために，患者によってフランジの高さ調節が可能となっている



## 管理ポイント

基本は通常の気管切開チューブの管理と同じではあるが，トラキオソフトフィットのチューブ構造上，注意が必要な部分がある．注意して管理していくべきポイントをいくつか挙げる．

ポイント	解説
 <p>チューブ本体にメモリがついており，挿入する長さの調節（移動式フランジによる調節）が可能</p>	 <p>初回挿入位置（ロック部分外側）を赤マジックにてマーキングしておく 点検時に外観上で挿入位置のズレがないか確認する</p>



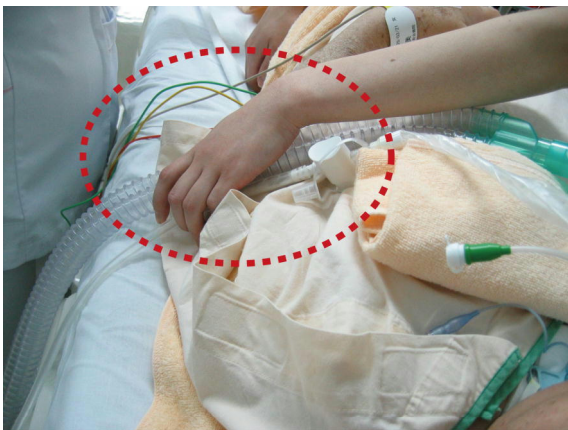
ロック部分を時計方向に回し、しっかり締める  
ロックをしていても完全ではない

ロック部分に緩みがないか確認し、しっかりロック  
をしておく

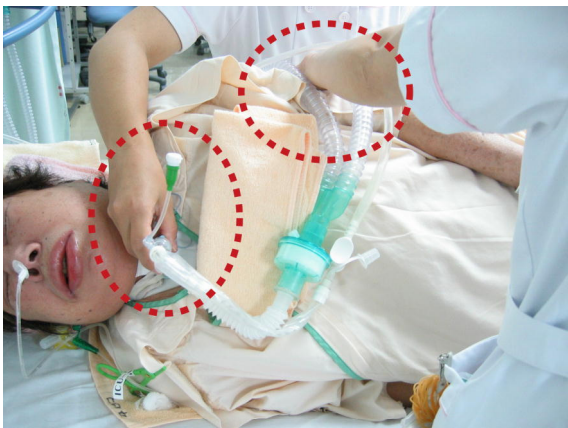
「体位変換など頸部の位置を動かすような看護ケア」



チューブに外力が加わり、チューブ位置が変化する可能性  
がある。特にチューブが浅くなる可能性が高いため、  
チューブの根元を手でしっかり保持しながら行う  
ように心がける。頭部のギャッジアップを行う場合にも、  
必ずチューブの根元を片手で保持しながら、リモ  
コン操作を行う。

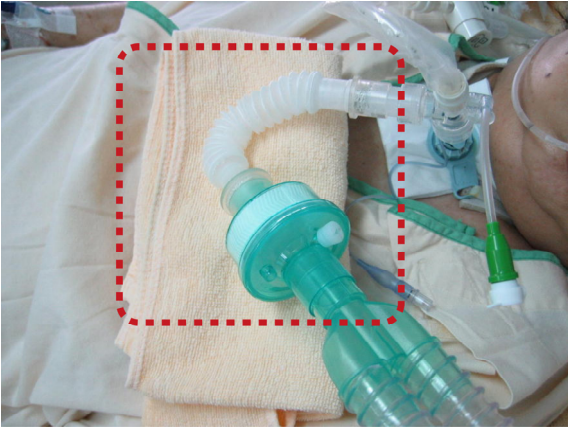


身体を動かす場合は、可能な限り 2 人で行うことが  
望ましい。身体を動かす側の役割を担うスタッフは人  
工呼吸器の回路が引っ張られないように保持してお  
く。



もう 1 人のスタッフがチューブの根元を確実に保持  
し、身体が動いてもチューブが引っ張られないよう  
にする。確実に側臥位となり、体位が安定したらチュ  
ーブより手を離し、ポジショニングピローを背部に挿  
入する。挿入後に体位を整える。

体位保持中



チューブに負担がかからないように人工呼吸器回路には余裕をもたせ、アームおよびタオルなどで安定した状態で保持するようしておく。

✓ スキル習得チェックポイント

- トラキオソフトフィット気管切開チューブの特徴がわかる
- チューブのフランジ固定位置のマーキングができる
- チューブのフランジ固定位置の確認ができる
- チューブのフランジ固定のスクリューロックを締めることができる
- チューブを保持しながらベッドのギャッジアップ・ダウンができる
- チューブを保持しながら体位変換ができる（チューブ保持とクッション挿入役，回路保持と体位保持役）
- 体位変換後，チューブ・回路の位置，接続状況の確認ができる
- 回路のアーム固定，チューブの保持ができる
- トラキオソフトフィット気管切開チューブの物品請求方法がわかる